

委員会等の会議録

1 会議名	第2回愛南町学校統廃合検討委員会	
2 議題	(1) 愛南町学校適正規模について (2) その他	
3 開催日時	令和2年12月25日(金) 19時00分から20時44分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	※非公開会議	
出席者		
6 委員	出席 18名 欠席 2名	
7 担当所属	所属名	学校教育課
	担当職員 (職・氏名)	教育長 中村 維伯 課長 岩井 正一 課長補佐 近田 幸信 係長 本多 大輔
8 その他の出席者	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
近田課長補佐	定刻となりましたので、ただ今から第2回愛南町学校統廃合検討委員会を開会します。
委員長	(開会あいさつ)
近田課長補佐	(本日の資料の確認) それでは、早速協議事項に移ります。ここからの議事進行につきましては、委員長にお願いします。
委員長	それでは、岩井課長から次第1～3を一括して説明してください。
岩井課長	資料1の表側の1～3について、御説明します。1の「国の法的標準及び公立小中学校、中学校の適正規模適正配置等に関する手引」ですが、これは前回の資料の中でも、文章で示させていただきました。2の方は、これも前回の資料の中に入っているのですが、平成18年度当時のこの統廃合検討委員会が示した基本方針になっています。この基本方針に関しましては、現在のところはもう終了しています。3は、今日新たに追加させてもらいましたが、これは平成30年度に検討されたものを書かさせていただいています。それでは、最初に戻りまして、1のアのところから説明させていただきます。学校教育法施行規則で示す標準は、小中学校ともに12学級以上18学級以下と示されていますが、ただし書によって、地域の実情、その実態その他特別な事情があるときはこの限りでないとされています。小学校の場合でいきますと、12学級、いわゆる1学年2学級の場合は編成の人数があるのですが、法的には1年生は35人編成のところ、愛媛県の場合は特別に1年生から4年生までが35人編成であり、36人になると2学級に分かれることになっています。5、6年生については40人ですが、特別に100人を超えると35人編成に変わるという形です。1学年2学級の12学級とした場合は、計算上226人から440人の間になります。18学級、いわゆる1学年3学級の場合は、計算上446人から630人になります。ここで、言語の統一といいますが、この検討会の中で言い回しを統一させていただいたらと思うのですが、前回の資料でもお示したように、愛南町には、この標準に該当する学校はございません。小学校においては、小規模校が平城、城辺、

一本松です。後は全て過小規模校と言われるもので、そのうち8校が複式学級3学級以下で、極小規模校と言われ、残る一つの柏小学校が過小規模校になります。このため、大規模校や標準学校は愛南町には存在していないということを御認識いただきまして、小規模校、過小規模校、極小規模校という言い方で進めさせていただきたいと思えます。中学校の方に移りますと、12学級から18学級が標準とすると、12学級ということは1学年4学級になります。4学級になりますと363人から480人であり、一番大きな18学級の場合は1学年が6学級あることになるのですが、603人から720人になります。来年度の愛南町の全中学生は、現在の推計では403人となる見込みです。この全ての人数を単純に合わせても、中学校は標準の学校に到達しないということになります。1のイの「公立小中、小学校中学校の適正規模適正配置に関する手引」により、小学校においては、やはり1学年2学級以上、12学級以上あることが望ましいというふうな書かれ方をしています。これはクラス替えであったり学級を超えた集団を編成したりなど、同学年に複数の教員が配置できるということです。それと、複式学級を解消するためには、1学年1学級以上必要だということが書かれています。中学校においては、標準に達しなくても1学年3学級以上を確保することが望ましいと書かれています。これは免許外指導に関係することで、愛南町の中学校では、教科担任の免許を持っている先生が全てそろっている学校はありません。御荘にしても城辺にしても十分な生徒数がないので、免許を持っていない先生が免許外指導という形で指導に当たっている教科があります。全ての授業で教科担任による指導ができるのは、9学級以上になったときです。少なくとも1学年2学級以上の計6学級以上が必要であるという書かれ方をしています。これも小学校と同じくクラス替えや集団編成、同学年に複数の教員を配置できる定数が6学級以上であれば各教員の確保ができるというような形になっています。次に2の方については、これは平成18年当時の学校統廃合検討委員会の中でいろいろ協議されまして、愛南町においての方針を示されたものです。望ましい学校規模、小学校においては6学級から12学級の150人から300人が望ましいということが示されていました。最低限の学校規模としては、1学年10人程度のおおむね60人くらいであると当時は示されています。中学校の望ましい学校規模は、1学年2学級ずつの6学級から3学級ずつの12学級、150人から363人が望ま

	<p>しいとされ、最低限の学校規模は、1学年当たり20人の60人と示されています。3のところですが、小学校の望ましい学級規模というのは、やはり12学級で、そこに示す人数になっています。最低限の学校規模は、平成18年度当時の検討委員会が示したものと同一となっています。中学校におきましては、望ましい学校規模は2学級ずつの6学級と示されています。最低限の学校規模としては、生徒数が最低30人、1学年当たり10人と示されています。</p> <p>これらはあくまで参考であって、ここから選ぶということではありません。現在から今後において、愛南町の学校規模や学級数、児童生徒の人数などについていろいろ御意見をいただけたらと考えています。以上です。</p>
委員長	<p>説明が終わりました。ここまでで御意見、気がついたことや何か質問があればお願いします。</p>
委員	<p>学校教育法について、今話されている間に調べたのですが、1947年に施行されて、これまでに改正されているとは思いますが、この「望ましい」というのは、いつの時代の人数を想定されているのでしょうか。</p>
岩井課長	<p>学校教育法の関係は、やはり戦後の問題が絡んでいて、とにかく学校を早く整備していかないといけないということがあったようでございます。そのために、基準として表したものがこの12学級から18学級というところで、これはそのまま進んできているようです。その後昭和31年ぐらいにまた指針等が出されたようですが、その当時の基準であれば都会では次々とマンモス校が増えて、それが逆に問題にもなっていた時代もあったようです。最近になって少子化により子供の人数が減ってきて、この適正規模の考え方などを踏まえながらの流れができてきたと私たちは捉えています。法律的な基準に関しましては、それほど変わっていないと認識しています。</p>
委員	<p>〇〇の意見をお聞きしたいです。設定されてから、例えば〇〇がしやすくなったとかもう少し少人数の方が良いだとかなど、お聞きしたいのですが。</p>
委員	<p>私の考えというか、感じていることを発言させていただきま</p>

	<p>す。子供のこと、先生のこと、学校全体の機能面のことなど、今の説明の中にもあったと思いますが、そういうものが全部関係していると思います。子供のことをまず考えると、1学級なのか複数学級なのかということはずごく大きな違いだと思います。クラスを替わることができる環境があること、いろいろなグループを作ることができるということについて言えば、やはり複数学級の方がはるかに好ましいです。そして、活力についても、単なる1学級よりは人数が多い方が様々な活動ができるということで、活力がある、元気があるということに繋がると思います。学習面は、その子に応じた内容ということももちろん大事なのですが、数が多くなっても(資料にある)適性では最高でも40人ということですから、現状の指導方法でも十分に指導ができるのではないかと思います。それから、先ほど免許外指導のことがありましたが、教師には英語の先生も数学の先生もいるけれど、ある程度規模が小さくなってくると美術、音楽、技術家庭の先生がいないということになります。そういう場合に英語の先生が免許外として仕方なく教えるということになるわけです。そうすると、専門性という意味でも授業の質という意味でも、どうしても落ちていくということになります。教師自体にとっても、人数がいる方がお互いにいろいろ学び合ったり切磋琢磨できたりするという意味で、活力が出てきます。そういったことでも、やはりある程度の学校規模の必要性はあるのではないかと考えています。</p> <p>委員</p> <p>私が若かった頃は40人ぐらいの学級が普通でした。現在、〇〇小学校は4年生までが35人以上いたら2学級になるので、それをぎりぎりキープできていましたが、今後は際どくなってきました。来年度の1年生が33人か34人なので、これでは1学級としてスタートしてしまうかなと思います。先ほど〇〇委員もおっしゃいましたように、学習面だけでなく友達との人間関係など様々なことを考えますと、やはり複数の学級があって、いろいろなことを配慮しながらクラス替えができるということになれば、この望ましいといわれる12学級や6学級、1学年に最低2学級という数になっているのかなと思います。それから教員の業務について、例えば今日も(2学期の)通信簿を渡しましたが、一人の先生がたくさんの子供たちのテストに丸をつけ、評価を記録し、評価を学期末にまとめて作成するというのを考えると、あまり(子供が)</p>
--	---

	<p>多過ぎても個に応じた指導にならないと感じます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかに御意見はありませんか。なければ、資料の4の説明をお願いします。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>はい。適正規模等とも絡んでくると思いますので、資料の4から6までのところを説明させていただきます。まず通学距離、通学時間に関しましては、通学距離の方はそこに書いてるような法律施行令によって、小学校はおおむね4 km 以内、中学校はおおむね6 km 以内と示されています。通学時間につきましては、実態調査等を国がされているのですけれども、その中で大体1時間以内が9割程度であるという数字が出ています。これはスクールバスや交通公共機関など、様々な交通手段を得た上での時間でございます。「地域の実情や児童生徒の実態に応じて、1時間以上や1時間以内などの適宜判断を行うことが適当であると考えられる」という示され方がなされています。この調査の中では、75分、1時間15分のところが最も長時間(の通学時間)であったという報告があったようでございます。5の「統廃合の必要性の可否を議論・協議するための要素」については、事務局なりにこういうものがあるのかなと思って、抜き出してみました。これはあくまで事務局サイドで抜き出したものでございますので、気付いていない部分もあろうかと思えます。まず子供にとって良い教育環境は何だろうかというところも、頭の中に入れていかなければならないかと思えます。よくアクティブラーニングといわれる主体的対話的で深い学びというものがありますが、今の子供の学習風景を見ると、グループ学習であるとか意見交換というもの、私たちの時代とは違って積極的にやっている様子うかがえます。クラス替えについても学年ごとに環境を変えていって、そういう環境の変化によっていろいろな力をつけていくということも子供たちにとって必要なのかなと感じます。それと、0人の学級がある学校も実際愛南町にはございます。また、学年に一人しかいない学校もございます。それから、これは前回の委員会である委員さんから出た意見だったのですけれど、複数同級生はいるけれど同姓の同級生がいないという学校もあると思えます。教頭未配置の学校もございます。配置の条件に関しましては、3学級以上で児童生徒が12以上、このどちらかの条件がそろわなくなると教頭は未配置になります。養護教諭の未配置校もあり、2学級以下になる</p>

	<p>と養護教諭の配置はできなくなります。それから、完全複式の学校、3学級の学校又は2学級の学校がございます。先ほど極小規模校を紹介しましたが、3学級の学級が1校、2学級の学校が2校ありますが複数学級がないとクラス替えができません。それから、最初に説明したところでもありますが、中学校においては免許外の指導をしている学校があり、部活動においても部活動が成り立たず、自分の(校区の)学校に(希望する部活がない場合は、違う地域の学校に行って部活動をするということも実際にはあります。(資料の)1番下の方ですが、この検討委員会の中で出てくると考えられる事項を抜き出してみました。保護者等の意思確認の仕方はどうするのかというようなことも出てくると思います。もし、学校統廃合をするという流れができたときにどういう組合せにするのか、よく考えられるのは旧町単位であるのかというようなことも出てくるのではと思います。時期等についても、すぐなのか何年か先なのかということも出てくると思います。統廃合後、学校が閉校になったところは地域とのつながりの在り方はどうすべきかということも出てくると考えます。閉校後の学校施設の管理運用の件も出てくると思います。それから、これも前回の委員会である委員さんから出た意見ですけれど、幼・保、小、中、高の一連の流れがあると良いのではないかとというようなこともありました。私からは以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>説明が終わりました。何か質問等あればお願いします。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>今回初めて出席された委員さんもおられると思いますので補足すると、このような議題を今回出させていただいた理由としては、前回の会議の中で「これから統廃合を検討していったら、どこの学校をとかという話になるにしても、まずある程度の目安、同意、どういう人数が学校の先生にとって教えやすいかなど、そういうことをある程度示して、それをベースに話を進める必要があるのではないかと」という御意見もありましたので、こちらとしてもある程度全体としてこれぐらいの規模であれば学校の学習環境としては良いのではないかとこのものを出しています。今日皆さんにこれに対して御意見をいただいて、次回にこれぐらいの基準ではどうかという案をこちらの方から出させていただいたらということで、この議題が出ております。それに付随するものとして資料の4～6のような、こういうことを検</p>

	<p>討していく必要があるのではないかというものを付けていますが、ある程度人数というものはこういう考え方で、国はこういうふうに決めていて、そして前回の学校統廃合において平成18年度に愛南町で喧々諤々話した時には、こういう基準が決まりました。平成30年度に「近い将来に統廃合が起こるとしたら、愛南町の学校、教育を担保していくためにはどういうレベルが良いですか」と問いかけをした時に出てきた数字をお示しさせていただきました。それぞれの御意見、例えば地域の立場としての御意見もあろうかと思っておりますので、忌憚のない御意見をいただけたらということで、今回こういうふう提案をさせてもらっています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかにありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>地区の立場からすると、統廃合することによってその地区に学校がなくなるわけですね。学校がない地区ができるということは、特に新しく新婚さんが来なくなると思います。学校もないところに新しく住居を構えて、生活しようかということはずまいと思いませんか。となると、その地区は縮小するしかなくなるし、その地区が縮小すれば今度はその隣のちょっと大きな地区も縮小して、結局最後残るのはどこだろうということをお心配しています。その点は、聞いておかなければならないなと思っています。子供たちの人数が少ないから統合しないといけないということはもう分かり切っていることなのですが、その中でも考えてほしいことは、地区としては義務教育の間だけは学校はあってほしいし、できれば幼稚園から全部あってほしいということです。義務教育が終われば、後は個人の選択になると思いますが、義務教育の間だけでもあってほしいと思います。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>ありがとうございました。昨年度、全小中学校の学校運営協議会に出向いて意見交換をさせていただきました。〇〇委員と同じような御意見もいただいています。そういう意見も含めて、いろいろ議論をしていただけたらと思っていますので、よろしくお願ひします。また、先ほど教育長が申し上げたように、今日のことを踏まえて次回のときには何かお示しできたらと思っています。地区の問題はどうすべきかということは本当に重要なテーマだと私たちも思っていますので、是非いろいろな御意</p>

<p>委員</p>	<p>見をお聞かせいただけたらと思います。</p> <p>資料1の2の「平成18年度当時の統廃合検討委員会が示した基本方針」ですけれど、例えば最低限の学校規模がおおむね60人というような方針を出してはいますが、これを基に実際の統廃合に活かされたのか、それとも現在も20人の学校にあるので、地域とかそういう関係があって、結局は活かされていないということが実情でしょうか。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>前回の検討委員会の資料3のところで、基本方針をそこに抜粋して記載しています。その下に「統廃合推進計画」流れを記載していますが、黒字で書かれた部分が計画時の数で、赤字で書かれた部分が実際にどうなったかを示しています。計画どおり行っているところもあれば、(計画外に)中学校のウの部分のように二つの中学校が御荘中学校に統合されたこともあります。〇〇委員が言われるように、望ましい学校規模を示してはいますが、現実的には、(資料の)小学校の力の赤水小学校まではその計画に基づいて統合されてきました。キの菊川小学校から下になっていくと、当時は既に望ましい最低限の条件も下回っていたのですけれど、実は赤水小学校を統合した時に、理事者の意向もあって一旦この計画どおりに進めるのはここまでだということで、後は地域保護者、地域から要望が上がってきたときに統廃合をしていこうということになりました。それで菊川小学校、中浦小学校、東海小学校については、この基準に基づいてではなく、保護者の希望、地域の理解でこの3校は統合しました。数字が(基準に満たなく)なったので統合したことは、実際にはこれまではなかったというところですよ。</p>
<p>委員</p>	<p>〇〇小学校が廃校になったときの状況としては、地域は盛り上げていこうという形で前に進んではいたのですが、どうしても保護者の方の意見が強く、子供さんを他所に通わせるとなりまして、それから(廃校が)進んでいきました。一人崩れると、なかなかまとめるのが難しくなります。今後、そういう状況に追いやられる所もでてくると私は思っています。統廃合は、考える以上に早く進んでいくのではと危惧しています。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>今回基準となるある程度の人数をと、前回の委員さんからのお話もありましたので、提案させていただいています。次回</p>

	<p>にある程度こちらから案を出させていただくわけですが、その人数に決まったとして、それに満たないから即統廃合の最終的な計画に持っていくかということになると、例えば通学の時間など、1時間以上かかるようなところに統廃合しないと人数に満たないから一気にやるとなるかということ、それはこの会の中で、人数は少ないけれど置いておく必要があるのではないかなどを議論し、計画に盛り込むようになると思います。一応、ある程度の教育上の効果はこれぐらいは最低でも欲しいという人数をベースとして決めておいて、それを議論をするときのたたき台にできたらと思っています。</p>
委員長	<p>そのほか御意見ないでしょうか。</p>
委員	<p>私は〇〇地区に住んでいます。学校、地域と共に活動をするようにしていますが、その中でやはり学校があることによってできていることが、今後もし統廃合するとできなくなるのかなあということもあるのですが、1番考えるべきは子供たちがどのような環境で学び、育つかということですので、今、皆さんの御意見を聞いて(考えが)大変揺れています。今後、もし統廃合するとしたら何年間をかけてとかどういった計画になっていくのかとかも、この中で決まっていくのですよね。</p>
岩井課長	<p>はい、当然そのようになろうかと思います。前回の資料の中に子供の推移等も載せていますので、そういったものも一つの材料になるのではないかと思います。まず統合ありきという議論ではなくて、今、〇〇委員が言われたように、どういう環境が子供にとって良いのかをまず皆さんである程度標準的な、プラットフォーム的なものを作っていた上で議論していただくということだと思います。</p>
委員	<p>地域の中の保護者の方たちとお話をしていく中で、やっぱり(学校が)あってほしいなあという意見もあります。そういった保護者の方が持たれている意見等は反映していただけるのかをお聞きしたいのですが、よろしいですか。</p>
岩井課長	<p>意見としていただいて、それらを反映できるかどうか(この委員会で)合わせて議論していただきたいと思っています。</p>

中村教育長	<p>学校運営協議に2か月ほどかけて17校全て回ったときに運営委員さんから意見をいただいていますので、次回にはお示しさせていただきます。当然、その中には地域の方々の意見もありますし、少しですかPTAの方の意見もあります。ただ、保護者の方の意見はまた何らかの形できちっと把握することは必要だろうということを内部では話し合っています。</p>
委員	<p>目安としては、今この現状を見る限り、もうほとんどの学校が20人以下の学校になっていますので、そういう学校はやっぱり統廃合の検討をすべき学校として位置付けるべきではないかなと思います。それと、この距離の資料で、小学生の1番遠いところで見ると、〇〇から〇〇小学校まで徒歩だと50分という計算があります。ですので、30分程度通学に時間を要するところまでを統廃合の基準とする形で考えれば良いかなと思います。人数も重要ですけど、通学は徒歩かバスかを問わず30分程度の時間を一つの目安にすると良いかなと思いました。</p>
岩井課長	<p>この距離と時間に関しましては、地区によっても住んでる場所によって差が出てくると思いますが、(それぞれの地区の)中心的な位置からの距離でございます。通学時間に関しましては、自動車で移動する時間であって、実際に乗降する時間は含めていませんので、実際はもう少しかかるだろうと考えています。そういった時間についても、一つの目安になると思っています。</p>
委員	<p>この距離と時間のところですが、自転車はどうなるのですか。私の子供は自転車に通っているのですが、〇〇学校に〇〇から通っているのが〇〇以上あり、自転車はどこを見たら良いのかなと思いました。</p>
岩井課長	<p>自転車で実際どれぐらいかかるかは、拾い上げができていません。この表では、学校と地区の間の距離と徒歩、バス又は乗用車での所要時間だけ拾い上げているところがございます。</p>
委員	<p>距離の関係で、統廃合した場合には、町としては全て車での移動を検討してくれるのでしょうか。それとも、歩いて行ける分は歩いて行ってくださいという話になるのでしょうか。</p>
岩井課長	<p>これまで統廃合した時には、通学の保障としてスクールバス</p>

	<p>や既存の使える交通公共機関を利用して通学しています。先ほどの小学生と中学生の通学距離の目安もございますので、その辺も含めて通学が保障される形を考えると、統廃合になった場合は保障すると言えるかと思います。〇〇委員さんのお子さんのように自転車で行くということであれば、保護者の御意向にお任せする部分も出てくるかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>統廃合して同じ校区になった場合、(元々)通っている者よりも通学距離が近いのにバスを使える可能性があります、そういった元々遠い距離を通っている者には通学の保障はないのですね。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>そういうパターンは、現在のところ把握ができていないのですけれど、今後そういうことは起こり得るかと思います。その辺は実際にそういうことが起こったときに個別ケースで対応していこうと思っておりますが、通学の保障については個別ケースも含めて考えていくべきだと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>合併前であれば旧町村内で通学する学校を考えていましたが、合併して愛南町になったので、統廃合した場合は選択肢が増えたんじゃないかと思います。どこを選んでもスクールバスでの対応を考えているのでしょうか。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>今現在は具体的にそうなると決まっているところではないので、そういう枠組みが決まっていくときにそういう問題も検討していく必要があると思えますし、是非この中で方向性を見出していただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>そもそも論の話ですが、学校って何のためにあるのかを調べてみたのですけれど、「子供の物事の多様な考え方とか見方などの素地を養う」ということらしいですね。確かにそうで、先ほど〇〇委員の話聞いていて、やはり多様性を考えると、例えば男しかいない学校、義務教育の中で英語の先生がいないということは、多様な見方とか考え方という素地を育てるためには(ある程度の学校規模が)不可欠で必要なことではないかと思えます。(例えば)クラスの中でいじめがあって、いじめはすごく悪いことですけれど、子供同士が少ない環境ではけんかなども少ないと思えます。やはり大きい学校だったり子供の数が多い</p>

	<p>といろいろな問題もありますが、小さなコミュニティといえる学校は社会に出るための練習をしているわけなので、そこで培われるものの大切さを考えるとある程度の規模の学校の方が優秀な子供ができたり、最終的に愛南町に何か新しい産業を作る子供ができるかもしれませんね。50年後ぐらいの話だと思っているのですが、今の子が優秀ではないというわけではありませんが、より優秀な子供たちを我々が育てて、その恩恵は後々の子供たちが受け、愛南町はすごく良い町だといわれるような子供たちを育てるために、今、統廃合が必要なのかなと思います。優秀な子供たちが育つと、(統廃合によって)衰退した地域もそういう子供たちの手によって復活するかもしれません。そこはただの想像でしかないですが、優秀な子供たちを育てること、もちろん彼らがやりたいこと望むことを実現させるためにそれ(統廃合)をやるということなのではあるのですが、それが最終的には愛南町にもフィードバックされて、地域にも広がるかなと思います。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>ありがとうございました。多様性の見方の数字などは全くそのとおりだというふうに思いますし、確かに優秀な子供も育てていただきたいですが、私たちとしても義務教育の小学校から中学校にかけてのいろいろな教育を通した体験では、やはり将来の生きる力、いろいろな時代の変化に対応できる柔軟でしなやかでたくましい人間になっていただきたいなという思いがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>私が〇〇をしていたときは、もう既に〇〇小学校が統廃合した後でした。旧〇〇小学校の校舎、体育館等を年に2回くらいふるさと学習で使用していました。教室や体育館を事前に掃除して、地域の方を招いて小学校でやってきた学習の一部を披露するといった活動も工夫してみました。そのためにはチラシを配りましたし、小学校での運動会に来ていただくために社会教育の方にも協力をお願いして、マイクロバスを出していただいて、運動会に招くということも工夫してみました。現在、〇〇小学校はたくさんの学校と統廃合していますが、各公民館の運営審議会等に足を運び、それぞれの地域の人たちが〇〇小学校の子供たち、数は少なくなっているけれど地元の子供たちにどう思うかという思いで接していただいているのかということについては大切に考え、感じたいと思っています。愛南の子供たちがそれぞれ</p>

	<p>の地域で自然や人柄などすばらしいものがたくさん周りにあるのですが、それが日常の中に埋没してしまって、子供たちはそれがすばらしいと感じていなくて当たり前になっています。学校だけの力では、そのすばらしさを子供たちに伝えたり感じ取らせたりということはできませんので、この統廃合云々だけではなくて、地域の皆さんがそれぞれの地域にある学校に力を貸していただいて、愛南町それぞれの地域がすばらしいところなのだということ、子供たちがそれは特別にすばらしいことなのだということをいろいろ体験させていただきたいし、そういう思いがあります。一方、それぞれの学校で作られた閉校記念誌が届いているのですが、これを見ると、最後の1年でこういう立派な本を作ろうとしたら、例えばそのときその学校に教頭先生がいない、養護の先生がいないという状況で、子供たちと日々接してる先生たちが授業もしながらその地域の記念誌を作成するという事は到底不可能なことだと思いつつ、すばらしい冊子だと思ってそれぞれの学校の記念誌を読ませていただきました。そういうことも含めて、今回こういう話題が出てきたのは今後何年後かに統廃合になる可能性があるということを見据えて、地域も学校も準備を始めましょうというスタートのきっかけを作ることかなと私自身は感じてますので、より一層今残っている学校と地域がそういう力を合わせて、今持っている教育力というものを子供たちに与えていただけると有り難いなと感じます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかに御意見はございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>適正規模については、結局どうなのですか。今日の議題がそのことでしたが、やはり、まずはこの委員の中である程度皆がこの辺りが望ましいのではないかというようなものを共通で持つ必要があると思います。ここに書いている望ましい学校規模、226人からというのは、小学校1年生が35人学級なので、1年生が36人いれば2学級になれるため、一つの学級に18人ずつで授業ができます。それから300人というのは1学年50人ぐらいで、1学級25人で事業ができて、教職員が目いっぱい手をかけられるなど、そういった教育活動ができるということです。2学級になると様々なメリットがたくさんあると思います。そういったところで「望ましい」というふうに人数等も書いているのだと。現在も〇〇中学校では40人近くの学級もあるので</p>

	<p>けれども、密にならないという意味でも本当に手をかけられる、あるいは教育活動が十分にできる良い人数の目安ではないかなと考えています。それから、最低限という言葉が私も気になるのですが、これは目指す学校が60人以上だというくらいのつもりで共通認識を図るという意味で、これにしないといけないということではなく、目指すのが50人以上の学級で、そういう学校ができれば良いのではないかなと思います。この根拠は、複式学級ができないことです。それぞれの学年に一人教員がついて、その学年の担任ができることです。複式学級にならないためにはおおよそ10人程度いれば大丈夫だろうということで、愛南町は1学年1学級以上の学校であってほしい、そういったところで本当に良い教育活動ができていくのだろうと思います。ただ、複式学級になったからといって指導が悪くなるわけではなく、教職員は本当に一生懸命指導しているので十分に教育効果を上げていると思いますし、子供たちも複式学級であっても充実した学校生活を過ごせていると思います。でも、目指すのはやはり60人以上の学級であってほしいなと思います。今後統廃合を考えていく中で、各学年に複式学級のない学校を目指していくような統廃合ができないかなと思います。通学路とかいろいろなことで課題あると思いますが、目指すべきところは皆で共通理解を図っていく必要があると思います。複式学級などの課題も統廃合の検討観点のところに含めて考えたらと思うのです。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>ありがとうございます。今のような形で、例えば「ここにはこういうふう書いてあるけれど、やっぱりうちはもうちょっと下げた方が良いのではないか」とか、反対に「この最低限は少な過ぎるのではないか」とかあると思いますので、委員さんの率直な意見をいただいておりますので、次回にこちらとしての案をお示しできたらと思いますので、どんどん御意見を出していただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私の息子が今度〇〇小学生に上がります。1学年33人だろうと言われていますが、周りのお母さん方からは、33人で1学年1クラスは厳しい、人数が多いし、特にうちの息子の学年は男の子も多いので、かなりしんどいねという話を聞きます。〇〇に通われるという親御さんとも仲が良くてお話をするのですが、 「〇〇と〇〇は30数人で1クラス、そういう感じが増え</p>

	<p>ていくのかな。そのほかは本当に少ない人数で進んでいくのかな。」という話を聞いているので、先生方や保護者の意見を本当に聞いていただきたいなと思います。私の友人が(子供を)〇〇小学校に通わせていたのですが、「小さな学校で育って良かった」という意見も聞いているので、いろいろな意見を聞いていただけたら良いなと思っています。前回の資料を見させてもらって、(今後の児童生徒数は)かなり厳しい人数だなどは思っています。子供たちが伸び伸び学べる環境づくりが大事だと思っていますので、保護者の意見も聞いていただきたいと思います。</p>
委員	<p>うちの子供は今6年生で、来年中学生になります。内海で(遠い)距離ということもありますが、個人的な意見としては、やはりどうしても(児童生徒数が)少ない、ちょっと魅力がないという思いがあるので、流出も少なからず考えていかなければいけないのかなと思います。</p>
中村教育長	<p>貴重な意見ありがとうございます。どうしても愛南の中学に行きたいと言われるように、今からまたがんばります。それから人数の件で、60人以上となると、例えば〇〇〇学校だったら30人で、60人だとおそらく〇〇小学校と〇〇小学校が一緒になって60人ぐらいかと思います。人数に関して何か御意見があればお願いします。</p>
委員	<p>そうですね。30人であれば、1学年10人になりますが、これも個人的な意見ですけれど、競争するには少ないなと思います。例えば、運動だったらある程度愛南町内でもできる方なのかなと思っています。正直人数が少ないので、少ない中でできても(仕方ない)という考えがどうしてもあり、それだったら(人数が)多いところに行って競争させたいなという気持ちがあります。だから30人は、少ないなと思います。</p>
委員長	<p>〇〇委員さん、何かありませんか。</p>
委員	<p>うちの子供も今小学校6年生で、今度中学校1年生になるのですが、中学校には〇〇部がありません。本人は〇〇がしたいと言っています。同級生は〇〇人ですが、男の子〇人は皆〇〇部(への入部希望)です。〇〇部があるから取りあえずは良いのですが、〇人が入っても〇年生が〇人なので、新人戦には出場</p>

	<p>できるかどうか分かりません。統廃合をしたら人数は足りるのでしょうけれど、いきなり県大会に出場するようになるのであれば、寂しいなと思います。やはり地区の大会を重ねて行って競わせてやりたいという気もあるし、実際のところは〇〇だけでは出場できないかもしれないという懸念もあり、現時点で〇〇中学校はそういう危機的な状況にあります。これをどうするかというのも難しいですが、実際に統廃合すると、学校はどの辺りにできるのでしょうか。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>まだそこまでの話はないのですが、例えば(中学校が)1校になるのか2校になるのか3校になるのかによっても位置的なものが変わってくるし、今ある学校を利用して統廃合するのか、それとも新しく作って統廃合できるようにするのかという問題もありますので、現時点でどこになるかというのはお答えし難いですね。先ほど言われていた〇〇部の問題については、例えば〇〇中学校は既に〇〇部の人数が足りないということで、〇〇や〇〇と組んで出場するといった解決策になっていくのかなとは感じます。人数としては、どれくらいは欲しいなどの御意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>10人は欲しいですけど、試合に出るとすれば、多分他の部活動から生徒を借りて出場することになるのかなと思います。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>分かりました。中学校の部活の件については、どこの保護者の方も切実な悩みとして持っているようです。統廃合していく中で、特に中学校の部活の部分は大きなウェイトを占める部分として考えていく必要があるのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今教育長が言われましたが、近い将来、(既存の学校への統合ではなく)大きな学校を作っていくということでしょうか。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>そういう方向を最終的に目指すのか、それとも、もう少し小さい中でどういうふうな結果を目指すのかということも含めて話すのが、今日のこの場ということです。前回の委員会的时候に人数的なものをお示しさせていただきましたが、今後6、7年後までの出生数を出しているのですけれど、年間に大体70名前後が既に2年続いていますので、それが今年突然100名になるかいうと難しい状況ですので、そういうことも含めて今から</p>

	<p>この話(統廃合の検討)を進めていって、計画を作っていく必要があるかと思っています。最終的に1校にするとか2校にするとかいうことを今決めているわけではありません。</p>
<p>委員</p>	<p>それは分かります。最終的に決めてないのでしょうけれど、この委員会というのは、10年後のところを目指しての人数を決めたいのか、それとも20年後を目指しながら段階的に決めたいのか、どうなのでしょう。難しい話だとは思いますが。</p>
<p>中村教育長</p>	<p>先ほど課長が申しましたように、それも含めてこの中で話を詰めさせていただきたいということですが、ここ2年70名の出生しかないということは、5年か6年後にはその子供たちが小学校1年生に上がってきますので、愛南町全ての小学校1年生を合わせても60数名になります。ですから、10年後だけを見据えて議論ができるかという、そういう状況ではないと思っています。人数が既に厳しくなって、同じ学年に一人だけとか全くいない学年のある学校のこともありますが、5、6年後に愛南町全部合わせて60数名だという子供たちが入ってくる時の学校体制も考える必要があるかなと思います。ですので、5年は一つの目途で、その次の段階の10年後も含めて考えるのかどうか、それぐくらい切迫してきているのかなという感じもしています。特にここ2、3年、一気に出生数が減ってきているので、危機感を持っています。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の委員会のときに「中学校は一つにしてはどうか」という意見が出たと思います。私にはその発想が全くなかったのですが、私の子供の頃を思うと、確かにたくさん学級があって、皆でわいわい切磋琢磨して1年間過ごして次の学年に上がっていくということがすごく楽しかったです。先ほど「中学校を南中に行かせます」という意見もありましたが、正直私もそれを考えていますし、周りの保護者からもよく聞きます。というか、もう(子供が)0歳(の段階)で子育て支援でいろいろなお母さんと話をするとき、先々のことを考えているお母さんも結構いらっちゃって、「私は、(子供が)中学生になったら、中高一貫にあずけたいと考えている」という方もいらっしゃるので、愛南町として学校を一つにするというのは、あっても良いのかなと思いました。これに関しては、すごく難しい問題なのかなと思います。私は小学校は〇〇で、小さい学校で活動しながら育っ</p>

<p>委員</p>	<p>てきて、それもすごく楽しかったのですが、自分の子供が小学学校に上がるとなると考えると、今回示された規模でも良いのではないかと思いました。</p> <p>保護者の立場からの意見なのですが、学力を重視するとなると、小人数に越したことはないと思います。やはり子供たちの学校生活の大半は授業だと思っていますので、その授業が分からない、ついていけないとなると、1年生から6年生までずっとしんどい思いをします。そこから不登校につながるという可能性も無きにしも非ずです。保護者は、少ない方が良いと思うことと大人数の中でもまれながら育ててほしいと思うこととは、当然意見が分かれると思います。先生の力量にもよるとは思うのですが、(人数で大切なことは)先生方が「この人数だったら指導が行き渡る」だとか「この人数だったら将来東大に出せる」というくらい(能力を)発揮できるような指導ができる人数ですね。保護者としては当然不安があります。大きいところについていけるだろうかとか、人間関係がうまくできるだろうかという不安があると思いますので、そこは平等に判断していただいて、最低限の人数(という基準)は作っていただきたいなと思っています。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのほかございませんでしょうか。</p>
<p>委員全員</p>	<p>(意見なし)</p>
<p>中村教育長</p>	<p>今までかなりの人数の方の意見をお聞きしましたので、今日お聞きした意見をベースに次回の委員会で案を出させていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>続きまして、その他に移ります。その他で何かございませんか。岩井課長、お願いします。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>皆さんにお諮りしたいのですが、この学校統廃合検討委員会を先月の27日に設置し、委嘱させていただいて動き始めたわけですが、設置したことは公表していません。しかし、やはり早いうちに公表して、保護者の方々、議会や地域住民の方にも設置されたことや検討が始まっているということをお知らせしたいと考えています。そこで、年が明けて、頃合いを見て公表さ</p>

	<p>せていただきたいと考えています。ただ、自由な意見が言えるように、委員さんの名前は答申のときまでは出さず、「〇〇委員長ほか19名で構成される」という形で出させていただきたいと考えています。保護者の方々には学校を通じて、地域の方々には広報やホームページなどで公開したいと考えています。「今後、児童生徒数の減少が進む中で、学校の教育環境の在り方等について方向性を見出すために検討していきます」という形で公開、公表させていただけたらと思いますので、御了解いただきますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>今の岩井課長の件について、了解していただけますでしょうか。</p>
委員全員	<p>(了承)</p>
委員長	<p>これで全ての協議事項が終わりました。この貴重な御意見は、今後の参考とさせていただきます。皆様、御協力ありがとうございました。では、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
近田課長補佐	<p>委員長、ありがとうございました。 最後になりますが、閉会あいさつを副委員長が申し上げます。</p>
副委員長	<p>(閉会あいさつ)</p>
近田課長補佐	<p>副委員長、ありがとうございました。 以上をもちまして第2回愛南町学校統廃合検討委員会を閉会します。 本日は大変お疲れさまでした。</p>